

# ニッペ ケンエース® G-II

やに・しみ止め効果にすぐれた多機能タイプの  
つや消し塗料

防火材料認定番号	品名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
------------------	-------

## ■ 特長

### ① 耐久性/付着力/耐水性

カチオン形特殊アクリル樹脂を使用していますので、耐久性にすぐれ、付着力や耐水性にもすぐれています。

### ③ 防カビ性

防カビ効果があり、強力防カビタイプのオプションも選べます。

### ② やに・しみ止め性

やに・しみ止め効果にすぐれ、水性のやに、しみ、あくが止まります。  
※ヤニが著しく付着している場合は、ウエスなどでヤニを洗浄して除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装して下さい。

### ④ すぐれた作業性

シーラー(注1)は不要で、乾燥が早く、1日2回塗りが可能です。また、旧塗膜をおかさないのでSOP(注2)やEPなどの上に直接塗れます。

注1 新設時および素材の種類や下地によっては、シーラーが必要な場合があります。  
注2 SOPは付着が悪い為、目荒らしが必要です。

## ■ 用途

商店、事務所、工場、病院、学校などの内部・準外部。

## ■ 適用下地

モルタル、コンクリート、ブロック、木部、鉄部、硬質塩ビ、かき落としモルタル

③繊維壁、耐火被覆用ケイカル板、ロックウールなどの非常に弱い素材には使用できません

旧塗膜(EP、SOP、AE、EP-G(GP))

## ■ 標準塗装仕様 ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。また旧塗膜の劣化が著しい場合は著しい吸込み面へは、下塗りにファイン浸透シーラーをご使用ください。						
上塗り	ケンエースG-II	2	0.13~0.15 注)	2時間以上	塗料用 シンナーA	0~7	はけ・ワールローラー
			0.14~0.16 注)			5~10	エアレスプレー

## ● 新設塗装仕様(内・外壁面)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。外部新設仕様および旧塗膜の劣化が著しい場合や著しい吸込み面へは、下塗りにファイン浸透シーラーをご使用ください。						
上塗り	ケンエースG-II	2	0.13~0.15 注)	2時間以上	塗料用 シンナーA	0~7	はけ・ワールローラー
			0.14~0.16 注)			5~10	エアレスプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

注)「ケンエースG-II」の塗付け量は、0.10kg/m<sup>2</sup>/回です。

●使用量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ●塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

※かび発生面に塗装する場合は必ず下記の処理を行って塗装してください。

①1~2%の次亜塩素酸ソーダ水で殺菌処理して付着したかびを除去して下さい。

②塗り付け後は必ず水洗いをし、十分に乾燥させてください。

※鉄部などの金属面には、下塗りとして、さび止め塗料をご使用ください。

※内部塗り替えにおいて、旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、目粗しを行ってください。

※記載された塗料以外の適用については最寄りの営業所にご相談ください。

## 他の塗料との比較

◎大変良好 ○良好  
△やや不良 ×不良

	ケンエース G-II	非水 エマルジョン	アクリル エマルジョン	
塗膜性能	耐久性	◎	○	○
	付着力	○	○~△	△
	防かび性	○	△	×
	やに、しみ止め	◎	◎	×
	耐汚染、汚染除去性	○	△	×
	耐水、耐温水性	○	△	△
作業性	旧塗膜への適応性	◎	◎	△
	ローラー・はけサバキ	○	◎	△
	低温造膜性	◎	△	×
	乾燥の速さ	○	○	○

## 塗り重ね乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	4時間以上	2時間以上	1時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 施工上の要点と注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにご確認ください。)

- ケンエースG-II(ケンエースGII)の下塗り材として1液ファインシーラーを使用する。割れが生じるおそれがあるため、使用しないでください。
- ケンエースG-IIの素地に直接ケンエースG-II(つや消し)を塗装すると、割れたり、縮んだりすることがありますので避けてください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- 鉄部の塗装の場合、2液形のさび止め塗料または上塗りと同系色の「ニッペ1液ハイオンファインデコ」をご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合があります。乾燥すると元に戻ります。
- つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がありませんので、試し塗りしてから本施工してください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気扇・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシーラー以外を使用したり、薄めすぎるとつや消しやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシーラーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを覆ってラインや帯などが変色(ブリード)によりする場合がありますのでご注意ください。
- 旧塗膜に発生した漆かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着層をおこすおそれがあります。
- 内部塗膜に発生している旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨剤を行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜は離れる原因があります。
- 既存塗膜の離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパタン合わせを行ってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を剥し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生することがありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- 風化面・吸込面の著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- やむを得ず付着している場合は、ウエスなどでやにを洗浄して除去し被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あみは止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで洗浄を行い、被塗表面を十分乾燥させてから塗装してください。
- 塩化ビニルクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またガラスの接着剤が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がることがありますので、クロス合わせ部などはあらかじめ接着剤などを押さえおくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度がpH10以下、表面含水率は10%以下(ケイト科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケイト科学社製H500シリウス・コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のみ、ほこり、エロレッセンス、レタナスなどは除去し、目直し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑してください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。

## 安全衛生上の注意事項

### 安全衛生上の注意事項(ニッペケンエースG-II 白)

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を手入してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 熱・火花・炎・高温のもののような着火源から遠ざけてください。一 禁煙です。
- 容器を密閉しておいてください。
- 容器を接地、アースをとってください。
- 防塵用の電気機器、換気装置、照明機器を使用してください。
- 火花を発生させない工具を使用してください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 粉じん、塵 / ガス、ミスト、蒸気 / スプレーを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
- 必要となるときは、環境への放出を避けてください。
- 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面罩を着用してください。
- 気分が悪いときは、医師の診断 / 手当てを受けてください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣服をすべて脱いでください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。
- 吸入した場合、気分が悪いときは、医師に連絡してください。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合、数分間流水を流して洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。

## 塗膜性能




試験項目	規格	試験項目
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅いかたまりがなく一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りおよびローラーブラシ塗りに支障があってはならない	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
乾燥時間h (半硬化乾燥)	5時間以内とする。	1時間
隠ぺい率%	90以上	95
耐水性	水に浸したとき異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	アルカリに浸したとき異常がないものとする。	合格
促進耐候性	白亜位の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格

## 容量・荷姿

塗料名	系統	容量	色相
ニッペ ケンエースG-II	カチオン形弱溶剤アクリル樹脂系 非水分散形塗料	16kg 4kg	各色

- 塗装直後から顔料に人が触れるようなドアの一部や手すりなどは、皮膚の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じてベント、床面などのが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉すると乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗装後の取り扱いは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りには芽生えイロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に芽生えイローでは、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合がありますので、事前に試験施工塗膜などでご確認ください。
- 顔色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 顔色および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 塗り重ねる場合は、塗膜を離すと色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所には、芽生えイローコンプレックスグリーナーを上塗りに塗装してください。グリーナーのローラーおよびはけ塗り、下塗り塗膜の再溶解やしみが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げおよびローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面膜が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの塗装は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化することがありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 可塑性が多含まれる塩ビ、銅板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴム、バックン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は行わないでください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかき混ぜてください。特注や調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密閉してから冷蔵で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険	危険有害性情報
  	引火性液体及び蒸気 / 強い眼刺激 / 発がんの恐れ / 生殖能又は胎児への悪影響の恐れ 臓器の障害のおそれ(単回ばく露) / 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ 水生生物に有害 / 長期継続的影響によって水生生物に有害

## 日本ペイント株式会社

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 北海道支店 ☎011-370-3101   | 近畿支店 ☎06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎022-232-6712    | 中国支店 ☎082-281-2180 |
| 関東支店 ☎03-5479-3614    | 四国支店 ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 | 九州支店 ☎092-751-9861 |
| 中部支店 ☎052-461-1960    |                    |

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT CO.,LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
NP-W168  
TY181215T  
2018年12月現在